

平成26年 建設業死亡災害事例

No.	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
1	1月	その他の建設業	作業員・技能者	飛来、落下	被災者2名は、現場内の地下において、機械式立体駐車設備（3層）の下段パレット（車を乗せる台）上で停止位置の確認作業をしていたところ、頭上から落下してきた上段パレット（車を乗せる台、約900kg）に押しつぶされ、死亡した。
			60歳代		
			10年以上20年未満		
2	1月	その他の建設業	作業員・技能者	飛来、落下	被災者2名は、現場内の地下において、機械式立体駐車設備（3層）の下段パレット（車を乗せる台）上で停止位置の確認作業をしていたところ、頭上から落下してきた上段パレット（車を乗せる台、約900kg）に押しつぶされ、死亡した。
			20歳代		
			5年以上10年未満		
3	1月	建築工事業	防水工	墜落、転落	倉庫の足場3層目の高さに位置するスレートひさし上でシーリングの打設を行っていた被災者が、工具を1階に取りに戻り再度スレートひさし上の作業場所に戻ろうとした際、スレートひさしを踏み抜き、5.5m下の墜落した。
			60歳代		
			30年以上		
4	2月	建築工事業	現場職員	墜落、転落	スレート屋根葺き建物の漏水調査のため、屋根上にあがり、スレート板を歩行していたところ、スレート板を踏み抜き、約6m下へ墜落した。
			40歳代		
			20年以上30年未満		
5	2月	建築工事業	とび工	墜落、転落	被災者は、外部足場の解体作業において、足場上で解体材料を上層の者から受け取り、移動して地上の者に受け渡す作業を行っていたところ、踏み板の運搬途中にバランスを崩し、足場3層目の妻側開口部から約4.4m下の地上まで墜落した。
			50歳代		
			1年以上5年未満		
6	2月	建築工事業	営業・販売関連事務員	その他	営業職である被災者が、出張先の建物屋上から転落死した。直近2か月間に長時間労働の実績があり、これが原因とする自殺である。
			30歳代		
			1年未満		
7	3月	土木工事業	土工	崩壊、倒壊	坑内にてL型擁壁の設置作業で、位置、高さのレベル最終調整を行うためバールでL型擁壁を持ち上げ、擁壁とスペーサーのすき間にライナーを挿入していたところ、L型擁壁が倒れ、作業員1名が挟まれた。
			40歳代		
			10年以上20年未満		
8	3月	建築工事業	大工	飛来、落下	小学校改築工事において、3階に仮置きした壁型枠材をクレーンで吊り上げ、4階外壁に建て込もうとしたところ、4階に仮置きした壁型枠材に接触して、4階に仮置きした壁型枠材が落下した。落下した壁型枠材が約3m下の足場上で作業していた被災者に接触して、壁型枠材とともに約4m下に墜落した。
			50歳代		
			10年以上20年未満		
9	3月	土木工事業	技術者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。
			60歳代		
			30年以上		
10	3月	土木工事業	管理者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆した。
			40歳代		
			10年以上20年未満		

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
11	3月	土木工事業	作業員・技能者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆したもの。
			60歳代		
			30年以上	階段、さん橋	
12	3月	土木工事業	作業員・技能者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆したもの。
			30歳代		
			1年以上5年未満	階段、さん橋	
13	3月	土木工事業	作業員・技能者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆したもの。
			60歳代		
			30年以上	建築物、構築物	
14	3月	土木工事業	管理者	おぼれ	港湾係留施設築造工事の現場において、中央棧橋を台船から引き出す作業中に中央棧橋が転覆したもの。
			30歳代		
			10年以上20年未満	建築物、構築物	
15	4月	土木工事業	土工	転倒	宅地の造成工事において、パワー・ショベルを運転する被災者が未整地の場所を走行していたところ、パワー・ショベルが転倒した。被災者はパワー・ショベルの運転席から投げ出され、頭部、頸部および骨盤を骨折した。
			60歳代		
			1年以上5年未満	掘削用機械	
16	5月	建築工事業	その他の作業員	はさまれ、巻き込まれ	被災者は建築工事現場内6階において高所作業車を使用し、上部の鉄骨貫通部にロックウールを詰める作業を単独で行っていたところ、被災者が高所作業車の手すり部分と躯体鉄骨に挟まれて死亡した。
			40歳代		
			10年以上20年未満	高所作業車	
17	5月	土木工事業	鉄筋工	飛来、落下	潜函工法によるシールドマシン発進立坑築造工事において、鉄骨鉄筋コンクリート製の函（以下、躯体）の配筋作業中、躯体鉄骨から張り出された鋼製の山形鋼（以下、アングル）による配筋用足場兼鉄筋仮置き架台に鉄筋を載せ、さらに当該足場部分に作業員3名が乗って作業していたところ、アングルが変形し、積載鉄筋が落下して、架台の下で作業中の被災者がその下敷になり死亡した。架台上の労働者も墜落し負傷した。
			30歳代		
			10年以上20年未満	金属材料	
18	5月	建築工事業	とび工	墜落、転落	住宅の屋根吹き替え工事現場で、外部足場の落下防止シートを設置していた被災者が墜落し、死亡した。被災者は保護帽と安全帯を着用していたが、保護帽は被災時に破損していた。
			60歳代		
			30年以上	足場	
19	6月	建築工事業	電工	墜落、転落	線路上で吊架線の新設作業中、吊架線が既設の柱から外れてしまい高架下に垂れ下がった。被災者らは当該吊架線を引き上げる作業を行っていたところ、高架下の道路を走行中のトラックに垂れ下がった吊架線が引っ掛かり、当該トラックが吊架線を引きずって走行したため、吊架線を手で保持していた被災者が衝撃により高架橋の手すりを超えて約6.6メートル下の側道に墜落し死亡した。
			20歳代		
			1年以上5年未満	送配電線等	
20	7月	建築工事業	とび工	墜落、転落	被災者含む2名の作業員で、建物の屋上端部からステージ足場上に建柱をロープで降ろす作業を行っていたところ、被災者が墜落した。
			20歳代		
			5年以上10年未満	建築物、構築物	

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
21	8月	建築工事業	とび工	墜落、転落	新築工事現場で、移動式クレーンを用いて足場の解体工事中、被災者が、枠組足場第8層にてワイヤーの玉掛け及び垂直ネットの処理を行っていたところ、地面まで14.2メートルの高さから墜落した。
			30歳代		
			10年以上20年未満		
22	8月	建築工事業	解体工	高温・低温の物との接触	被災者は木造家屋解体工事の現場で内装解体や歩行者誘導等の業務に従事した後、同僚の運転で現場を出てしばらくすると、同僚が被災者の様態の異変に気が付き、病院に搬送されたが死亡した。
			50歳代	高温・低温環境	
			1年未満		
23	8月	建築工事業	内装工	激突され	鉄製の耐震補強材パネル（高さ206センチ、重さ1.3トン）の搬入作業を行っていたところ、搬入口に段差があったため仮設スロープを作り、1名がチェンブロックを用いて斜め方向に引き、3名でパネルを支え、台車の方向を調整しながらスロープ上を移動させていたところ、パネルが転倒し1名が下敷きになり死亡した。
			50歳代	金属材料	
			30年以上		
24	8月	土木工事業	配管工	はさまれ、巻き込まれ	工事現場に隣接する住宅の玄関先で養生作業を行っていた職長である配管工が、旋回したドラグショベルの旋回体（右側後方部分）と付近にあった電柱との間に挟まれ、死亡した。
			30歳代	掘削用機械	
			20年以上30年未満		
25	8月	建築工事業	鉄筋工	崩壊、倒壊	マンション新築工事現場で、柱筋の地組を行っていたところ、組立中の柱筋（高さ4メートル）6台を立てた状態でクランプ留めしていた架台（単管パイプで組んだやぐら）が転倒し、柱筋配筋作業に従事していた3名の鉄筋工が、鉄筋等の下敷きとなり、うち2名が死亡した。
			20歳代	金属材料	
			1年未満		
26	8月	建築工事業	鉄筋工	崩壊、倒壊	マンション新築工事現場で、柱筋の地組を行っていたところ、組立中の柱筋（高さ4メートル）6台を立てた状態でクランプ留めしていた架台（単管パイプで組んだやぐら）が転倒し、柱筋配筋作業に従事していた3名の鉄筋工が、鉄筋等の下敷きとなり、うち2名が死亡した。
			30歳代	金属材料	
			5年以上10年未満		
27	8月	建築工事業	とび工	墜落、転落	被災者は、地上約12.1mの荷受け用足場の7段目でブレースを取付中に、当該足場上で他の作業者とすれ違うため、被災者が身体を躯体外側に引いたところ、ブレースが片側しか止まっていなかったため、ブレースが外側にはね出しその隙間から1階の土間上に墜落した。
			20歳代	足場	
			1年以上5年未満		
28	9月	建築工事業	解体工	墜落、転落	金属加工工場解体工事現場で建物のスレート屋根解体作業中、スレート屋根上を移動していた3次下請業者所属の被災者がスレートを踏み抜き、コンクリート床面まで約8メートル墜落して死亡した。
			40歳代	屋根、はり、もや、けた、合掌	
			10年以上20年未満		
29	10月	土木工事業	土工	飛来、落下	宅地造成工事現場で、トラックの荷台から敷鉄板を地上に下ろすため、ドラグショベルを使用して敷鉄板を吊り上げようとしたところ、鋼棒がバケットから外れ、敷鉄板がトラックの荷台から滑り落ち、トラック側方の側溝で作業していた被災者が当該敷鉄板の下敷きとなった。
			60歳代	玉掛用具	
			10年以上20年未満		
30	10月	建築工事業	鉄骨工	墜落、転落	倉庫3階の増築工事で、被災者が躯体外階段の本設すりすり枠を取り付ける作業を中断し、休憩を取ろうと当該階段を降りていたところ、高さ約8メートルの踊り場から地上まで墜落し死亡した。
			60歳代	階段、さん橋	
			30年以上		

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
31	10月	建築工事業	車両系建設機械運転者	転倒	被災者は解体用ブレーカーを用いて鉄筋コンクリート造の建物解体を行っていたところ、解体用ブレーカーが転倒し、解体用ブレーカーと地面との間に被災者がはさまれた。
			60歳代		
			1年未満		
32	10月	建築工事業	とび工	墜落、転落	1 2階建てマンションの外壁改修工事現場で足場の解体作業を行っていた労働者が足場6層目より建物2階の庇に墜落した。
			20歳代		
			5年以上10年未満		
33	10月	土木工事業	貨物自動車運転者	交通事故（道路）	土砂をダンプトラックで砂置場まで運搬する作業中、砂置場で土砂を降ろした後、現場に戻る際、ダンプトラックが法面に衝突炎上した。
			50歳代	トラック	
			30年以上		
34	10月	建築工事業	大工	墜落、転落	工場建屋屋根張替え工事現場で、屋根上で屋根材の張替え作業を行っていた労働者が、屋根の下地材である木毛板を踏み抜き、1.2m下の建屋内床に墜落し、死亡した。
			60歳代		
			10年以上20年未満		
35	11月	建築工事業	とび工	墜落、転落	2Fエレベーターホールに設置した立ちウマに乗って、エレベーターシャフト側に手すり単管を取り付けていた際、被災者が取り付けた手すりに片足を載せて体重をかけ、安全帯フックをかけ直そうとしていたところ、手すりが脱落し、その反動でシャフト内に約6m墜落した。安全帯は2丁がけであり、うち一丁は手すりにかけていたが、手すりの脱落とともに外れた。
			60歳代		
			30年以上		
36	11月	土木工事業	電工	崩壊、倒壊	水道管の水漏れ箇所の確認等のため約3mの深さまで掘削後、被災者が掘削箇所に入り確認作業を行っていたところ、土砂が崩れ生き埋めになった。
			40歳代	地山、岩石	
			20年以上30年未満		
37	12月	建築工事業	解体工	崩壊、倒壊	RC造5階建てビルの解体作業中、4階の床部で高さ約3m、幅約2.5m、厚み約20cmの躯体の壁倒しを行うため、ハンドブレーカーを使用して壁の下部のはつり作業を行っていたところ、壁が内側に倒れ被災者が倒れた壁と4階の床部分との間に挟まれた。
			20歳代		
			1年以上5年未満		

本表の災害は、安全課が平成27年3月までに把握した、東京労働局管内の事業場で発生した平成26年建設業の死亡災害です。